



北山村 議会だより



10月7日に奥瀬道路・第1トンネルが貫通しました。

令和4年9月定例会・第1回臨時議会が開催されました

令和4年度補正予算 条例改正案等を審議／可決 P 2

予算について議員が問う！ 全協・委員会での質疑内容 P 3

議員が村政を問う！ 一般質問 P 4～P 6

議会の防災豆知識 東日本大震災の被災地視察 P 7

議会日誌 議員のひとりごと P 8

令和4年9月定例会 ～令和4年度補正予算

条例改正等を審議・可決、一般質問等を行いました。～

本定例会は、9月28日、30日（会期3日間）で開催されました。28日の開会日は、諸般の報告として、山口村長から行政報告並びに提案理由の説明が行われ、その後、議案の審議を行い、条例改正の議案、令和4年度補正予算などが審議されました。

2日目の30日は一般質問が行われ、山口廣一郎議員、前岡武津雄議員、藪本英明議員が村行財政についての質問を行い、活発な議論が行われました。

●議決された条例・予算等の議案は以下のとおりです。

報告第 3号	健全化判断比率及び資金不足比率について
議案第27号	北山村職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について
議案第28号	紀南学園事務組合理約の変更について
議案第29号	工事請負契約の締結について
議案第30号	令和4年度北山村一般会計補正予算（第2号）について
議案第31号	令和4年度北山村国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について
議案第32号	令和4年度北山村介護保険特別会計補正予算（第1号）について
議案第33号	令和4年度北山村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について
議案第34号	令和4年度北山村地域振興事業特別会計補正予算（第2号）について

本定例会で可決された補正予算の中で主な事業を紹介します。

- 竹原区民会館新築工事設計監理費（3,300千円）・・・竹原地区の国道改良工事により竹原区民会館が移転し、新築されます。
- 地域振興券購入費（8,856千円）・・・経済的な生活支援を目的として、住民一人当たり2万円分の地域商品券を配布します。
すでにお手元に届いていると思います。
- 和歌山県知事選挙執行費用（495千円）・・・候補者のポスター掲示板の作成費用です。
県知事選挙の投開票日は、11月27日（日）です。期日前投票などを利用して忘れずに投票しましょう。
- 温泉施設維持補修費（3,000千円）・・・老朽化による施設の修繕費です。
- 消防業務委託料（2,394千円）・・・新宮消防に消防救急業務を委託する費用について、令和3年度分を清算した追加費用です。

条例・予算について議員が問う！
全員協議会・委員会での主な質疑内容

【質問】新じゃばら加工場の建設について6億円余りで契約している。全国的に資材費、燃料費が高騰しているが、今後、建設費が増加することもあるのか。

【回答】設計業者の説明では、材料・セメントなどの価格が上がっており、予算として多少の単価の増加は見込んでいます。

正当な理由で設計費が上がる場合には議会に相談して補正予算を計上する場合があります。

【質問】新宮消防への消防救急業務の負担金が増加しているが、どのような理由か。

【回答】負担金の増加は令和3年度分の清算したもので、熊野川町の人口が減少しており、負担金は人口割で算出しているため、北山村の負担割合が増加しました。

【質問】教育費の補正予算において、パソコン購入費用が計上されているがどうか。

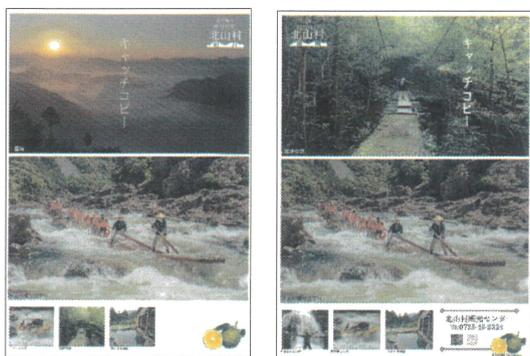
【回答】教員が使用するパソコンが経年劣化で故障しているため買い替えが必要です。

【質問】観光事業の補正予算でパソコン購入費が計上されているがどうか。

【回答】観光筏下りのツアー事業者に対して営業を行う際に、タブレットで筏下りの動画を见てもらおうと分かりやすく関心を持ってもらえるので購入したい。

【質問】観光PRのため新しくクリアファイルを作るといふことだが、どのようなデザインになるのか。

【回答】観光筏下りや雲海などのデザインで作製中です。（現在のデザイン案をご覧ください。）



令和4年第1回 臨時議会が開催されました。

10月5日、令和4年第1回臨時議会が開催されました。議案として北山村一般会計補正予算（第3号）が上程され、その内容として、奥瀨道路のトンネル工事に伴う土捨て場の工事、新型コロナウイルス感染対策地方創生臨時交付金事業が計上されました。審議の結果、全会一致で可決されました。

臨時議会で可決された補正予算・新型コロナ感染対策交付金事業により、今後、次の事業が実施されます。

- 燃料費高騰対策支援事業【村民対象分】（4,500千円）・・・燃料高騰による生活費の負担を軽減するため、ガソリン、灯油等の購入に使用できる商品券を村民に配布する。
- 燃料費高騰対策支援事業【燃料事業者分】（1,200千円）・・・村内での灯油の販売価格の高騰を防ぐため、販売事業者に対して高騰抑制のための補助金を交付する。
- 燃料費高騰対策支援事業（1,000千円）・・・高齢者生活福祉センターやデイサービスの運営について燃料費の高騰によるサービスの低下を防ぐため、費用の増額分を補助する。
- 給食費高騰対策支援事業（200千円）・・・物価高騰による保護者の負担を増やすことなく、学校給食の質の低下を防ぎ、栄養バランスや食材の質を保つため、食材費の増額分を補助する。

一般質問

○防災・減災のための具体的な対策を！
 ○災害時、積極的なドローン活用との必要性。
 ○児童・生徒に体験学習で心の教育の推進を！

山口 廣一郎



防ぐ「感震ブレイカー」という器具を村内全戸に設置しました。

耐震改修事業については、これまで耐震診断が5件程度ありましたが、個人負担が多額になることから改修までには至っていません。

(中森総務課長)

【質問】地震による家屋の倒壊が心配されるが、家屋の補強、家具の転倒防止等、村民に周知、指導をしているか。
 地域防災計画は災害に強い村づくりと言うありふれた言葉ではなく現実的な具体策を。

【質問】地域性を考えるとドローンによる状況把握で迅速な救助、消火、避難が可能になるのではないか。ドローン操縦経験者のスキルアップはしているか。
 有事を考えると高性能ドローンの導入や、ドローンの台数を増やしてはどうか。

【答弁】村民への周知については、今年3月に地域防災計画を改訂した際に「防災啓発冊子」を全戸配布しました。また、県で作成した防災に関するチラシやパンフレットは随時配布しています。

家具の転倒防止については、平成27年に家具を固定する金具の無料配布を実施しました。

平成29年度には地震の際にブレイカーが落ちる仕組みで通電火災を

【答弁】職員には操縦経験者が4人おりますが、操作技術には差があります。担当する業務によってドローンを操縦する機会がなく、スキルアップの研修も出ていないのが現状です。

ドローンの台数は現在1台ですが故障等も含めて、以前からもう1台増やしたいという意見もあることから来年度に購入を検討します。

(中森総務課長)

【質問】県林務課と北山村森林組合の協力で林業体験を実施するということが、詳細はどのようなになっているか。
 心の教育推進という事で子供たちにいろいろな世界の入り口を見せる体験学習の意義とは。

【答弁】今回初めて小学5年生・6年生を対象とした森林・林業体験を行います。まず、座学として東牟婁振興局林務課の協力で森林の機能や働き、間伐などの手入れ、木材利用の意義について学びます。

その後、村の森林組合の協力を得て、学校近くの山林で間伐の現場を見学します。

北山村は林業で栄えてきた村であることから、「筏下り」「じやばら」とともに、村の大きな産業である林業を知ってもらいたい。

また、森林には水源の涵養機能や土砂災害防止機能、美しい景観を保全する機能や地球温暖化防止の役割があることを知ってほしいと考えています。

林業体験を行う意義については、森林の温暖化防止機能など地球規模での気候変動に大きな役割を果たしていることを学習することで、森林の多い自分たちの郷土に自信と誇りを持つてくれればと期待するものです。

(泉教育長)

小学生が林業体験！

北山小学校の5・6年生の7人が、和歌山県東牟婁振興局林務課、北山村森林組合の協力により、林業体験を行いました。

10月12日は座学として森林や林業の役割などを学びました。北山村の森林率は94%で、そのうち人工林が70%であり、林業が盛なこと、植える・育てる・伐る・使うといった林業サイクルを学びました。続いて10月21日には実際に山林で間伐について学習しました。

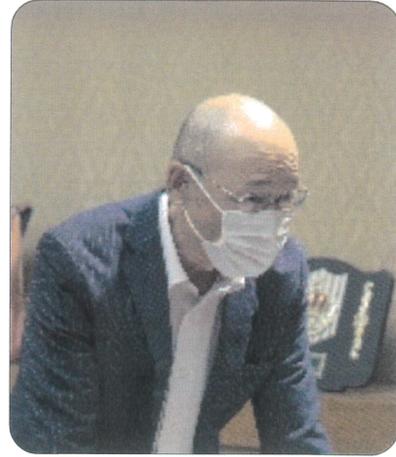
間伐作業は、込み合う森林を間引くことで樹木が適度な間隔を保ち、太陽光が木の根元まで届くようにするために行うこと等を学び、実際に木が倒れるところを児童は興奮した様子で作業を見守りました。



一般質問

学校教育について
鳥獣害対策について

前岡 武津雄



【質問】 教育行政も大事なことで、学校教育をどのように進めていくのか、又、来以降5年間の入学児童の動向（推移）についてはどう考えているか。

【答弁】 今年度の村の児童生徒数は、小学校が26名、中学校が

8名の計34名です。5年後の令和9年度には29名になる見込みで、人口割にする

と県全体と同じ割合です。現在、教育委員会では、令和元年6月に策定された北山村教育大綱を基本に、北山村教育行政方針に沿って、学校教育の充実に向けて取組を進めており、英語教育や読書を通じた読解力の向上など、これまで推進してきた学力向上に向けての取組を継続していきます。それに加え、少人数の利点を生かして様々な体験や経験、いろんな方からのお話を聞ける機会をつくって、北山の子どもたちに見聞を広めてもらいたいと考えています。

また、交流する機会を数多くつくることで、自分から話しかけることや、相手の話をよく聞くこと、また、自分の言葉で思いや考えを伝えることなどコミュニケーション能力を身につけてもらいたいと思っています。

コミュニケーション能力を身につけることは、北山村教育大綱の目標であります「自らの力で社会を生き抜く力」、「社会

で自立できる力」を育むことにつながる、とても大事なことで考えており、あらゆる機会を捉えて積極的に進めていきたいと思っています。（泉教育長）

【議員からの提案】 この村には筏下り、じゃばらなど村の誇りになるものがあるので、ふるさと教育を通じて、地元

【質問】 お年寄りは畑で野菜が取れるのを楽しみにしているし、健康で長生きができる秘訣にもなっているが、集落でシカやサルの被害が多く、せつかく育てた野菜が被害にあっている。鳥獣被害の現状、今後の取り組みについてどのように考えているか。

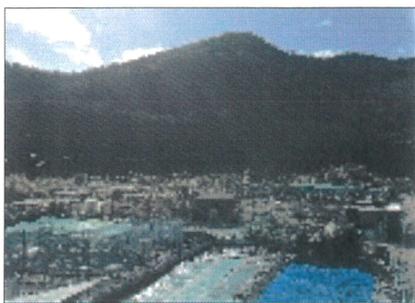
【答弁】 資材の購入額の2分の1で5万円が補助金の上限となっているが、補助金の上限を10万円まで引き上げてはどうか。

【答弁】 村内の農作物に対する鳥獣被害は、鹿、猪、猿によるものがほとんどで、鹿については、近年、捕獲効果もあり、ここ数年、被害が減少しています。

猪についても減少傾向にありません。猿についてはここ数年、被害が増加しており、年中、人家周辺まで出没しており、安心して農作物を作れない状況です。今後の取り組みについては、猟友会による有害駆除を継続するとともに、防護柵の設置を促していききたいと思います。また、集落環境を整備するなど総合的な取り組みを集落単位で実施することが不可欠であることから、追ひ払い花火の研修会などを通じて住民意識の向上を図っていきます。

防護柵設置の補助金については、地元耕作者からの強い要望もあり、来年度に向けて資材費用の補助金上限の見直しを検討していききたいと思います。一度設置した農地については、5年経過後は再度申請できますので、今後周知していきます。

（北岡産業建設課長）



中州の農地の写真。村内はどこでもネットなど獣害対策が必要です。

一般質問

コロナ禍で中止となった事業に代わる事業の実施について 次年度から実施して頂きたい事業

藪本 英明



ていました。今後は第8波が来ることも視野に入れた中で、従来のイベント、行事の実施について実行団体と協議していきたくと考えています。
(山口村長)

【質問】コロナ禍の中で下尾井プールの閉鎖、敬老会、夏祭り等が中止を余儀なくされました。今は全国的にみても感染対策を行って各種イベント等も実施しています。北山村も村民を対象にしたイベントを行ってはどうでしょうか。

【答弁】村内のコロナ感染者数は、保健所への届け出のデータによると、8月以降36人の感染者が出ており、実に人口の約1割に相当します。幸いに重篤者は出ていないのはワクチンの効果があったと解釈しています。
こういう状況だったので慎重に構えてイベントの中止等、自粛し

【質問】次年度から実施して頂きたい事業について提案します。
①奥瀬道路のドキュメンタリー映像の作成
②交通安全施設の点検並びに設置(主にカーブミラー)
③高齢者に対する配食サービスについて
④七色、竹原堰堤撤去後に自然プールを考えてはどうか？
⑤四の川等の清流を守るための条例を制定してはどうか。

【答弁】①平成20年に開通した第I期工事の小松から田戸までの間は、工事着工から工事の様子など全て紀南工事事務所で記録されており、当時のビデオをDVDに編集し直します。
貫通した1号トンネル、来年度着手する1号橋、来年の秋に貫通する2号トンネル等、現在行われている工事についての記録もぜひ

残しておきたいと考えています。
(山口村長)

②カーブミラーは国道に係るものは県で、村道に係るものは村で設置しています。施設の出入り口には村や交通安全協会で設置しています。担当部署での点検を行い、国道での新たな設置については県に要望という形になります。
(中森総務課長)

③高齢者に対する配食サービスは令和2年10月からサービスが開始されおり、対象は、準備、調理、栄養管理が困難で安否確認が必要な高齢者や介護保険の要介護者等です。現在、利用者はおりませんが、今後も広報紙等で周知します。
(川邊住民福祉課長)

④七色、竹原の堰堤の撤去は洪水対策として実施し、併せて河川整備を行い、村内に唯一残る北山川を取り戻して観光振興の一環として、釣り・カヌーなどで利用できるようにしたいと考えております。計画の中では自然プールという案もありますが、川遊びの利用には監視員や更衣室の問題があり、トイレが必要になります。また上流の七色ダムの水質が自然プールの水質に合うかどうか心配しています。
(山口村長)

⑤四の川等の清流は村民の共有財産で水源の環境保全が重要です。村として水のきれいな溪流をP

奥瀬道路Ⅲ期工事 第1トンネルが貫通

10月7日、奥瀬道路Ⅲ期工事の第1トンネルが貫通しました。小学1年生から4年生までが立会いし、貫通を祝いました。

Rし、村民や都市部の人に豊かな自然を楽しんでもらい、また、利用者に啓発などを行い、温暖化の問題も含めた環境を守る意識を持っていただきたいと思います。
清流を守るための自然環境条例について検討していきます。
(尾中地域事業課長)



議会の防災の知恵袋 No. 13

東日本大震災の被災地、復興状況について視察を行いました

10月29日～31日に北山村消防団とともに東日本大震災の被災地、復興の状況についての視察を行いました。北山村議会から山口廣一郎議員、役場職員2名、消防団員6名の計9名が参加しました。

震災から11年が経過し、海岸線はほとんど復興が終わり、海釣りを楽しむ姿も見られ、震災の被害を忘れないために保存している小学校や駅などを除くと震災があった場所とは分からないほどでした。

被害のあった各地区で津波の伝承館や祈念公園があり、次に起こる災害への備えを確実にできるように、全国に世界に、そして次の世代に発信していました。

【震災の教訓】

地震はいつ起こるか分からないことから、常日頃から防災減災の意識を持つこと、また、人を助けに戻った人が多く亡くなっていることから、まず自分と身近な人の安全を最優先に考え避難すること。

避難する際には、マニュアル通りにいかないことを考えておく必要があり、避難所ごと津波で流されたことがあることから、災害の種類や状況による避難所の安全性を再点検すること。

避難所や仮設住宅でエコノミー症候群や運動不足で健康を害して亡くなった人も多くいたことから、震災の復興として体力づくりやスポーツ振興に力を入れている。

瓦礫処理の際に種類ごとに分けて置いておくことで、資材の再利用がスムーズに行われ、復旧や廃棄に係る費用が安くなった。

南海トラフ地震などの災害は確実にやってくるので、「その時どうするかを、今考えておく。」



震災起こった時刻に止まった時計



津波の被害を受けた駅舎を視察



多くの児童がなくなった大川小学校



津波伝承館で被害の大きさを聞く



慰霊碑で手を合わせる山口議員



震災直後の状況と現在の門脇小学校

議会日誌

8月(葉月・はつき)

- 18日 東牟婁郡町村議会議長会臨時総会 (串本町)
- 23日 和歌山県町村議会議長会 県知事要望 (和歌山市)
- 30日 里親支援連絡協議会 (田辺市)

9月(長月・ながづき)

- 2日 和歌山県知事・県土整備部訪問 (和歌山市)
- 10日 土砂災害シンポジウム (那智勝浦町)
- 16日 議会運営委員会 (役場)
- 26日 全員協議会(村民会館会議室)
- 28日 9月定例会(役場)
- 30日 総務建設常任委員会(村民会館会議室)
- 30日 じゃばら加工場地鎮祭(七色の里公園)

10月(神無月・かなづき)

- 5日 第1回臨時議会(役場)
- 7日 奥瀬道路第1トンネル貫通(下尾井)
- 13日 南紀熊野ジオパーク東牟婁議員連盟協議会 設立総会及び報告会(串本町)
- 25日 東牟婁郡議会全議員研修会(串本町)
- 25日 鹿児島県大和村議会視察受入 (村民会館会議室)
- 27日 新宮周辺広域議会 月例監査(新宮市)
- 28日 県議会議長会正副委員長研修会(和歌山市)
- 29日 東日本大震災被災地視察 (宮城県仙台市)

11月の予定

- 8日 全国議長大会及び国会議員訪問 (東京都)
- 14日 和歌山県町村議会議長会全議員研修 (有田川町)
- 18日 総務建設常任委員会(村民会館会議室)

四季折々の村の風景

朝晩の冷え込みが厳しいですが、この時期は紅葉が色づいてきます。村内はスギ・ヒノキが多く、紅葉する樹木が少ないですが、それでも点在する広葉樹が美しく見えます。お気に入りの樹木を見つけてみるのも楽しいです。

議会広報委員
山口 廣一郎 藪本 英明



福祉センターの銀杏の木

議員のひょうたん

《不安を解消する前向きシニアライフの備え方について》

ここ数年間はいつまでも元気で笑顔で暮らしたいと、シニアライフを思い描き続けてきました。そして、終活にたどり着きました。

今、既に自身の終活を始めています。終活というと死ぬための準備なんて縁起でもないと思える人がいますが、むしろ真逆。終活は今をより前向きに生きるための準備なんです。終活を意識した生活することによって将来の生活設計を具体的にイメージすると、そこから逆算で今やるべきことが見えてくるのです。

私自身、終活を意識し、人生の物事に置き換えて日々の生活の中に導入すればいろいろな物、人への対応の変化が異なっているのが結果として表現されています。不必要な物、必要な物を目標を持って整理、整頓することで、今前より物を生かすことができ、生かされている気持ちになりました。

北山村議会副議長 久保隆俊